



イズミル経済大学

10月の報告書

1 はじめに

トルコに到着してから2ヶ月、学校が始まってから1ヶ月が経とうとしています。トルコの生活にも学校の授業にもだいぶ慣れてきました。授業の課題は日本にいたとき並みにたくさんある上に、友達から会おうと誘われたらほぼ毎回Yesと答えているので、とにかく忙しくて今のところは日本の生活を恋しがっている暇もないです。今月はこっちでの生活について書きます。

2 トルコあるある

この2ヶ月間で経験したカルチャーショックを以下にまとめます。

- 実家に招待してくれる(毎週友達の家にお邪魔してます、ありがたい)
- みんなすぐ電話する(連絡先を交換する時も電話番号を交換することが多いです)
- 0階が地上階(日本の感覚でエレベーターで1階を押すと2階に着きます)
- 誘いはいつも直前(今暇？って突然聞かれることが多いです)
- 物価の変動が想像以上に激しい(現地の人たちもよく嘆いています)
- みんなコーヒーとティーが大好き(私も食後にティーを飲むのが大好きです)
- 煙草も大好き(私の感覚だと2人に1人くらいの割合で煙草を吸います)
- ねこがとにかくどこにでもいる(道にも店の中にも教室やスタジオの中にもいます)

3 ルームメイト問題

私は学校の中にある寮の2段ベッドの部屋でトルコ人のルームメイトと2人で暮らしていますが、私たちの生活習慣が真逆で根本的に相性が悪いのが今1番の悩みです。私は朝8:30の授業が週4であるのと対照的に、ルームメイトは早起きが苦手で夜遅くまで起きています。部屋にデスクランプがないのと、通知オンが爆音なので、夜電気が消せないorうるさくて寝れないときが何度かありました。私の願望もしっかり伝えて今は割と平和に暮らしていますが、ルームシェアする人は日本から耳栓とアイマスクを持っていくのをおすすめします。

4 英語:トルコ語:日本語

言語についてですが、私個人の感覚だとこっちにきてから話している言語の割合はだいたい英語:トルコ語:日本語=8:1:1くらいだと思います。学校の授業は全て英語で、私が関わる友達や先生は全員英語が話せるので、ほとんどのコミュニケーションは英語です。一方で、トルコの公用語はトルコ語でみんな第二言語として英語を勉強しているので、トルコ人同士の会話や授業の専門的な説明は自然とトルコ語になることが多いです。わたしはもちろん理解できないので、向こうから気づいて私のために翻訳してくれたり、必要だと思ったら構わず自分から聞いたりします。学校から一步出るともうトルコ語しか通じないので、これに関しては本当に大変です。

Google 翻訳があれば基本的になんとかかなりますが、本当に困ったら友達に電話して翻訳してもらっています。なので私も簡単なフレーズから少しずつトルコ語を勉強していて、1割くらいはトルコ語を話してると思います！

最後に日本語ですが、今年は日本からの留学生が私だけで、初めの頃はほんとに日本語を話す機会がゼロだったんですが、日本語を話せるトルコ人の友達と仲良くなったのと、トルコに20年程住んでいる日本人ママとスーパーでたまたま出会って、色々助けてもらっているんで、最近は1割くらいは日本語も話します！周りに日本人がゼロという環境は想像以上に心細くて、少しでも日本語で会話できる機会があってありがたいです。



この日は友達の手紙についていて、
夜ごはんを美味しくいただきました



本当に
おいしかった...



週末限定のバザールで
破格で服を
買えました!



10月の Festiva (思い出)



友達宅の朝ごはんが
豪華すぎて
驚きました

イカリスのとなりの
シロジという観光地



私は
コーヒーを
用意しました♡



大学の授業でも出てきた
エフェソスに連れて行ってもらうことができた



港街のウルク



オリーブオイル
ミュージアムに
行きました!



学校近くの
バザール



